

数学科 中学校 2年

単元名 連立方程式
啓林館 未来へひろがる数学2

単元の流れ (全15時間)

【第1次】 連立方程式とその解

主な学習内容

◇第1時～第2時

- ・二元一次方程式とその解の意味
- ・連立方程式とその解の意味
- ・連立方程式の解のたしかめ

【第2次】 連立方程式の解き方

主な学習内容

◇第3時～第8時

- ・文字の消去の意味
- ・加減法による連立方程式の解き方
- ・代入法による連立方程式の解き方

【第3次】 連立方程式の利用

主な学習内容

◇第9時～第13時

(本時第13時)

- ・問題を解決するために、2つの文字を使って連立方程式をつくること
- ・連立方程式を使って、問題を解決すること

【第4次】 学習のまとめ

主な学習内容

◇第14時～第15時 適用問題を解く

単元目標

- 数量の関係を2つの文字を用いて等式に表し、これを用いて実際の問題を形式的・能率的に処理することができるようにする。

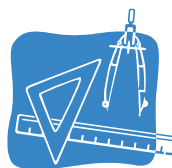
単元構成の意図

第1学年では、一元一次方程式について、その中の文字や解の意味を理解し、その解き方について学習している。

第2学年では、これらの学習の上で、二元一次方程式とその解の意味や二元一次方程式を連立させることの必要性和意味及び連立二元一次方程式の解の意味を理解し、解を求めることができるようにする。さらに、具体的な場面で連立二元一次方程式を活用する能力を育てる。

「活用」の力を育てるポイント

- ①連立方程式の利用では、実生活に関連した問題が多いので、実際の場面で連立方程式が使えることを実感できるようにする。
- ②代入法や加減法など、一つの連立方程式に対して、いろいろなアプローチをさせ、自分のやり方の有益性や考え方を述べさせ、交流することで理解を深めることができるようにする。
- ③本時の目標を明確にするとともに振り返りの場面を設定し、理解を深めることができるようにする。



本時の流れへ

評価問題

HOME